

2001年4月15日 主日礼拝

司 会 ①倉知健兄 ②沼田兄 ③岡野保兄

奏 楽

賛 美 聖歌168

使徒信条

主の祈り

賛 美 聖歌171(172)

祈 禱 ①高木兄 ②多田兄 ③ 三畑兄

聖 書 ルカによる福音書15章11～24節

音 楽 ①井 沢 師

②③カルバリー聖歌隊

メッセージ 『死んでいたのに、生きかえり』

大川従道牧師

賛 美 明日はどんな日か(献金)

祝 禱

「私はよみがえりであり、命である。
私を信じる者は、たとい死んでも生きる。」

(ヨハネ一の一五)

石の枕

リバイバル新聞の一面のコラム欄に、川本兄の告別式の様子があった。

「あんな感動は生まれて初めてです。体で受けたあの感動は一生忘れないでしょうね。これは、マリナーズのイチローではなく、未信者の四十代の男性がキリスト教葬儀に出席して漏らした感想である。実は、本紙のレイアウトをしてくださっている株式会社枝屋の営業部長T氏のコメントである。

このT氏は、玉川学園の出身で、その恩師が先頃亡くなり、ヤマトカルバリーチャペルで開かれた前夜式に出席した。とにかくそのすがすがしい雰囲気感動したとのことで、語りながら風呂から上がったばかりのような顔になっていた。また、同級生も同等の感想を持っていたという。

キリスト教の葬儀が、何故これほどまでに未信者に感動を与えるのか。それは言うまでもなく、キリストが最後の敵である死を滅ぼし、死が天国への勝利の凱旋につながるからだ。このことが、知性では理解できなくても、人間の本質的な部分に感動を与えるのだろう。言っちゃあ悪いが、キリスト教式結婚式の何倍も感動する。

この記事を読んで、背後で労された諸兄姉は報われるであろう。また、これから召される予定の方々も、こんなに恵まれた葬儀で最後の証詞をさせていただけるなら安心でありましょう。(あまりあわてて召されないように?)

今日は、イースター。イエス様のご復活を記念して祝うだけでなく、私たちも「必ず甦る!」ことを確認して賛美したいと思う。私たちは、この地上でどんなに辛い日々を過ごしても、イエス様のお陰で、必ず復活し、必ず天国へ招かれるのである。イエス様とお会いできるだけでなく、先に天に召された愛する者たちに再び会えるのである。考えただけで、ウフフのフ。ハレルヤ!

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース:ルカ11章~14章 Bコース:ルツ記~サムエル記上16章

【大和ニュース】

- ・イースターおめでとうございます。主の復活を心から祝い賛美します。
- ・受洗おめでとう。①山下姉(会)
- ・転入会歓迎! ①伊江姉(学生会)
- ・本日第3礼拝直後、Rev. STOKESによるピアノミニコンサート(15分位)。お楽しみに。
- ・本日、入門講座Ⅲ、子聖、手話、通訳、学生会、青年会、囲、SS教師・送迎、ゴスペルクルー等あり。ボードをご覧ください。
- ・洗礼準備会は、1時半から、レインボールームにて。
- ・今週の祈禱会には、エジプト代表のカーメル博士(通訳は奥山師)が来られます。
- ・信徒聖書学校は、ケーラー師、金曜夜9時。
- ・本日の東京伝道は、関口M・Dと大川牧師。
- ・家庭集会は、森の里(本日3時)、田奈(水曜10時半)、藤沢瀬郷(金曜13時)、相模原矢部(金曜13時半)。お祈りください。